

業界動向

高速シートシャッター「門番」が 全シリーズでエコマーク認定 小松電機産業(株)

小松電機産業(株) (鳥根県松江市乃木福富町、小松昭夫代表取締役)が製造・販売している高速シートシャッター「門番」の全シリーズが10月5日付けで、(財)日本環境協会のエコマーク認定を取得した。認定を受けたのは「門番」のGF05～20型、KV11～51型、WV31～41型、SV26～41型(「門番」シリーズの詳細は、本誌2010年10月号にて既載)。

「門番」は、主に工場・倉庫などにおいて、フォークリフト・搬送車・人などが出入りする建物の外部および内部の開口に設置される産業用シャッターで、カーテン部分がシート主体で構成されており、人や物の出入りをセンサーで自動検知し、高速度で上下に開閉できるシャッター製品である。1985年の発売以降、防塵・防虫・冷暖房効果など、工場環境の改善に効果がある製品として、自動車、食品、精密機器の製造工場などで導入されている(販売累計台数は業界最多の約12万台)。

このたびのエコマーク認定に際しては、一般的な鋼製シャッターに比べ約10～20倍の速さで開閉することにより、冷暖房効果を飛躍的に高め、



第13回関西機械要素技術展(10月6～8日、インテックス大阪)において説明する小松電機産業の小松昭夫社長

屋内からのエネルギーの流出を低減することで、二酸化炭素などの温室効果ガス排出削減に効果を発揮する点などが評価された。

同社では、「門番」シリーズは、本年5月発売の「Gシリーズ」(パイプレス、上昇速度は業界トップ

の秒速3m、気密性は従来品比18倍)、中間パイプ付きの「KVシリーズ」など、工場や倉庫などのあらゆるシーンにおいて最適なラインナップを揃えている。エコマーク認定を取得したこと



高速シートシャッター「門番」GF型

で、政府が発表した温室効果ガス25%削減に向け、環境健康問題に取り組む研究開発事業を、さらに進めていく」と述べている。

なお、同日付けで三和シャッター工業(株)(本社・東京都板橋区新河岸2-3-5、木下和彦社長)および文化シャッター(株)(本社・東京都文京区西片1-17-3、茂木哲哉社長)もエコマーク認定を取得した。認定取得した商品は、三和シャッターでは「クイックセーバー」シリーズのフレクシーSR、同SR-F、同SR-W、同SR-N、文化シャッターでは「エア・キーパー大間迅(だいまじん)」シリーズのマジックタイプ・M2パワー、同M3オールウェザー、同・MINI、同・Cスタンダード、picomo。

シャッター製品におけるエコマーク認定は、今回の一連の商品群が初の取得事例となる。小松電機産業の小松社長は「地球に優しい商品として、胸を張って国内外にPRしていきたい」と述べている。

日本生産者GAP協会がシンポジウム 「日本適正農業規範」の作成を進める

(社)日本生産者GAP協会および農業情報学会は10月19～20日の2日間、東京大学・弥生講堂において「GAPシンポジウム『日本適正農業規範(GAP規範)(未定稿)』の概要と検討～日本農業のあるべき『規範』を求めて～」を開催した。

シンポジウムでは冒頭、主催者を代表して日本